

平成30年3月29日発行

「ガールスカウト植樹体験」



千葉森林管理事務所職員からの作業方法の説明

千葉森林管理事務所からも4名の職員が現地指導のため、同行しました。

参加者は、体験作業を始める前に、千葉森林管理事務所の職員から苗木の扱い方や植え方などの注意点の説明を受けた後、それぞれ活動を始めました。

フィールドは、平成29年度に皆伐をした箇所ので、約0.2haの比較的傾斜の緩い場所になって

ガールスカウト千葉市協議会は、千葉森林管理事務所管内の国有林において、森づくりに関するボランティア活動を行う協定を結び、林業体験など森林を利用した様々な活動を行っています。

今年は、平成30年2月25日（日）に君津市の戸崎国有林内でスギの苗の植樹体験を行いました。

当日は、ガールスカウトメンバー16名、保護者や役員など25名の計41名が参加しました。



植付作業の様子



植付作業の様子

います。参加者は、400本のスギのコンテナ苗を4グループに分かれて植え付けました。

このコンテナ苗は、プラスチックの容器の根鉢の部分にヤシガラや土、肥料を入れて成長させたもので、従来の一般的なスギ苗木とは異なり、植付作業が容易といったメリットがあります。また、苗の植え付けは、通常、鍬を使用しますが、このコンテナ苗の植え付けには、ディブルという専用

の器具を使い、植え付けを行います。

多くの参加者にとって、初めての作業でしたが、皆さんが熱心に取り組んだので、予定よりも30分も早く作業を終えることができました。

作業を終えたガールスカウトのメンバーからは、「固い場所があって地面に穴を開けるのが大変だった」、「始める前は大変そうだと思ったが、やり始めると夢中になった」、「小さな苗が大きなスギの木になるという事に驚いた」などの感想が聞かれました。

また、保護者や役員の方々からは、「植樹をする機会はなかなかないので貴重な体験ができて良かった」、「子供たちもこの体験を通じて森林に対する見方が変わると思う」、「実際に森林での仕事に関わっている人の意見を聞くことができて良かった」などの感想が聞かれました。

千葉森林管理事務所では、今後もこうした林業体験活動を通じて、森林の持つ公益的機能発揮や生物多様性の保全等の普及啓発につながるよう取り組んでまいります。



ディブルを使った作業